

1. 見学希望日、お子様の名前・月齢、連絡先をお伝えいただき、日程調整をさせていただきます。（遠方の方はZoom対応での見学もOK） 園内ストリートビューも →



2. 見学当日、子育て支援室で受付記入、保育園重要事項・保育方針等の説明

①「知的教育を行わない」方針の背景

2020教育改革「新学習指導要領」に！ 保育現場でアクティブラーニング
大切なのは知識でなく、思考力・判断力・表現力とされたことの紹介。

②「安心して失敗できる」ことが自己肯定感の育成に。失敗しても安心してきているか

2018保育指針が改定され、0～2歳の基礎教育が大切。保育園も教育施設
安心して失敗できるから次の思考、意欲、挑戦、忍耐、達成感、充実感につながる

③保育士は、おどさない、せかささない、比べない、叱らない。待つあげるかわわりを大切に
子どもの人権に配慮するとともに子ども一人ひとりの人格を尊重します（保育理念より）

④食は「人を良くする」と書きます。良く育てるために食育に取り組みます。

完全給食。週1回玄米：7升炊きの圧力釜で炊飯。週3日7分づき米＋赤米・黒米。
金曜日は名店サイラーのパン。サドイチ用食パンもサイラー特注。週1日は麺。

手づかみ食べOK、安心して食す環境、息育→そしゃく力、滑舌、えんげ力。

安心の時間×やりたい活動＝満足・納得 → 食欲～満足→安心睡眠

おやつも手作り中心（芋、蒸しパン、おにぎり、クッキー、サドイチなど）

毎日
掲示中
→



⑤保育園では布おむつを使用

おむつは業者レンタル（料金：年齢ごと別途表示）

排尿で濡れた不快を感じて、動きが止まり、保育士が気づき～すぐ着脱～快感に
現代の紙おむつは高性能で快適＝子どもの感覚機能をマヒさせる。

紙おむつで排尿～サラリと温かく快適

＝冬場は頻尿ほど心地よい！！

文明生物として大切な「不快～快」を

感じないまま成長すると、感覚異常に！？



⑥昼寝用布団はレンタルです。（月額400円）

布団の中芯材は通気性抜群の東洋紡のブレスエアー。抗菌防臭加工

うつ伏せ寝での窒息やSIDSリスク軽減。熱湯消毒や塩素消毒、乾燥機もOK。

シーツのみ各自準備～週末持ち帰り。専用シーツ：1,700円

⑥



⑦制服・帽子・カバン・体操服は決まっていません。日常生活も行事の時も自由服。

性格・特性・こだわり・癖なども、個性として共有したいと考えています。

（インクルーシブ教育をすすめていきたいと考えています）

お互いの多様性を尊重し、精神的および身体的な違いも共生していきます）

3. 施設案内をさせていただきます

1階～

- ① 床は全てヒノキの無垢材です。足の感覚機能を育てるため、素材感を大切にします。
- ② 保育室の天井は、吸音材（コンサートホールの壁のような穴が開いたボード）。聴覚過敏の子への対応。無駄に反響しないし、室内が静か。
反響音や雑音・ザワツキがダメな子に配慮。
園内で CD、DVD は使わない。運動会・発表会もピアノのみ。生声、生音のみで生活。
- ③ 1階フロアは、保育室間～給食室までガラスでスケルトン。見通せるため、連携が容易。
- ④ 給食室は、ガラス越しに作業が見通せ、おかずや調理、素材への興味をそそる。
正面にスチームコンベクション。ガス台の左に圧力釜。左奥には低温貯蔵庫。
- ⑤ 生活空間はイベント会場ではないため、大人が作った装飾や壁面構成なし。
飾るとすれば、散歩で見つけた小石、葉っぱ、木の実、枝など、子どもが気に入ったもの（小さな宝物）を大事にします。配色も自然色中心。（視覚過敏に配慮）
- ⑥ 子どもの声を保育活動につないでいくため、奇想天外や急展開もあり。
室内は、子どもたちの活動の盛り上がりに合わせて配置変更 OK。
歌の内容や絵本、つぶやきやひらめきのひと言から活動が展開されて OK。
「それ面白そう！やってみよう！」と、子どもたちと盛り上がったら、挑戦 OK。
安心して失敗して OK。じゃあ次は…次々と
運動会も発表会も、保育の途中経過。完成を見せようとしなくて OK。
- ⑦ ついたて、絵本棚、本棚など、保育士の手作り。
出来ることを増やすのが保育園の仕事。保育士もいろんな工具を駆使します。
- ⑧ イスは全てオリジナルで特注品。3～5歳サイズ、1・2歳サイズ、0歳児サイズ
縦置き、横置き、裏返しなど5通りに座れるマルチユーズ。多様性の象徴。
- ⑨ 敷き布団：ブレスエアーに触れてみませんか。
- ⑩ 0～2歳児クラスは、月齢の進行とともに部屋の構成を随時変更します。
特に0歳児は、ハイハイ～つかまり立ち～自立歩行の過程・時期に合わせて変更します。

0歳児室 ①⑤⑦

未満児園庭：芝生＋築山＋手足洗い場



1歳児室



築山



2階～

- ⑪ 3～5歳は、外階段から園庭へ。テラスは季節により給食やおやつ会場に。
- ⑫ ホールの段差は、ステージ、客席、ハイハイあそび用など使い方次第。
- ⑬ 天井のステンレスバーは、ターザンロープ、ブランコ、うんていなどを下げて保育展開。
- ⑭ 3～5歳児室の窓からの眺望：壮大で気持ちが大きくなる感じ。
部屋はとてもシンプル。保育展開次第では部屋中が物干しのひもだらけの時も。
- ⑮ 全クラスに子どもの作品棚が常設。一人一人の作品を大事に。
- ⑯ 和式便座を1つ設置。屋外や就学後に和式トイレが使えるように経験値を増やします。
- ⑰ 保育を見ていただくうえでの視点

- ・ 大人の声が響かない空間。(大人の声の大きさに注目して)
- ・ 大人を気にせず、自分のペースで、思い思いに過ごしているところに注目。
お客さんが来ても寄って行かない時は、満足して自分なりに遊んでいる証拠。
- ・ 心地よく満足して給食を食べているところに注目。
- ・ 自立し、大人を頼りにしていないため「先生、先生」という声がほとんど聞こえない。
- ・ 活動の継ぎ目(外遊びから部屋に帰る時の片づけ～手洗い～着替えなど)で、おどさない、せかさない、比べない、叱らない、を大事にしています。

⑤⑭



⑪



②⑬



⑮



⑧



②⑬



⑭



⑯



⑤



⑫

